

『(公財)中島記念国際交流財団助成』
(独)日本学生支援機構留学生地域交流事業

国際理解教育講師等派遣事業

ワールドキャラバン

令和3年度報告



主催：茨城県国際理解教育推進協議会

茨城県教育庁学校教育部義務教育課

茨城県教育庁学校教育部高校教育課

茨城県教育庁学校教育部特別支援教育課

茨城県教育庁総務企画部生涯学習課

茨城県営業戦略部国際渉外チーム

(独)国際協力機構筑波センター

茨城地域留学生交流推進協議会

公益財団法人茨城県国際交流協会

ワールドキャラバンとは



県内の学校や、生涯学習関係機関、並びに国際交流団体等が国際理解の促進を目的とした事業を行う際に、外国人等講師や参加型学習のためのファシリテーターを派遣する制度です。参加者に、外国人と直接対話する機会や、開発教育のワークショップ等を体験する機会を提供することによって、国際理解を深め、国際社会で活躍できる人材の育成を図ることを目的としています。

(ワールドキャラバンの醍醐味は直接会うことですが、コロナ禍では難しい状況もありました。交流機会自体を絶やさないよう、オンラインで画面を通じた交流も可能としました。)

小学校事例

龍ヶ崎市立松葉小学校

学 校 長：糸川 宏

実施日時：令和3年12月9日(木)10:40~12:15

実施場所：教室、教室前ワークスペース

対 象：6年生37名

コーディネーター：庄司 京子さん

講 師：キィ ピュ ルインさん/ミャンマー/留学生親善大使
オシニ リドミカ デ シルパさん/スリランカ/留学生親善大使
ガスパリヤン ゲオルギさん/ロシア/留学生親善大使

【活動内容】

- ▶ 各国の紹介
- ▶ 質問タイム
- ▶ 母国の遊びや踊りの実演紹介
- ▶ 児童からの日本文化紹介

城里町立石塚小学校

学 校 長：鈴木 勝

実施日時：令和3年10月29日(金)10:40~12:15

実施場所：体育館

対 象：6年生70名

講 師：パーコフィ エイキンスさん/ガーナ/各国事情紹介講師
呉 佳雨さん/中国/留学生親善大使

【活動内容】

- ▶ はじめの言葉 ▶ ゲスト紹介
- ▶ ゲスト自己紹介 ▶ 歓迎の言葉
- ▶ クラスごとに分かれて交流会(児童：活動する2カ所をローテーションで体験)
- ▶ お礼の言葉 ▶ おわりの言葉 ▶ 記念写真撮影

児童の感想

▶ 世界には、色々な文化や伝統的な服や食べ物、宗教があり、同じ国内でも少し文化が違っていたりするけど、お互いを否定していなかった。様々な国の文化をしっかりと知れば、その国の良いところがよく知れて、自分を成長させることができると思った。



▶ 私たちの発表を、外国の方が楽しそうに聞いてくれて、練習してよかったなと思いました。これをきっかけに、外国の言葉を勉強して、日本以外の友達ができ、日本とは違うことをたくさん知ることができたらいいなと思いました。

先生の感想

▶ 外国人講師の方々にはパワーポイントによる資料を提示しながら、大変分かりやすく母国の紹介をしていただきました。児童は初めて聞く外国の文化に大いに興味を持った様子でした。また、児童たちが一所懸命に準備した日本の文化紹介を笑顔で聞いていただき、本当にあたにかい対応をしていただきました。コーディネーターの庄司さんにも活動を補助していただき、充実した活動ができました。児童にとって忘れ難い1日になったと思います。本当にありがとうございました。



児童の感想

〈ガーナ〉

▶ 子どもたちの生活を聞いて、日本との違いがわかりました。小さいときから、家の仕事をお手伝いしていてすごいと思いました。



▶ 民族楽器を演奏させてもらい、とても楽しかったです。

〈中国〉

▶ 切り絵やお礼を実際に触らせてもらって嬉しかったです。中国へ行ってみたい気持ちになりました。



▶ アニメを観て、日本語を覚えたことにとても驚きました。語学を勉強するときに参考にしたいです。

先生の感想

- ▶ たくさんのスライド写真を見せていただき、ガーナと中国の特色や文化に触れることができました。
- ▶ 民族楽器を即興で演奏させてもらい、子ども達のたくさんの笑顔が見られました。
- ▶ クイズ形式での紹介もあり、楽しみながら異文化について学ぶことができました。
- ▶ 休憩時間まで子ども達のたくさんの質問に答えていただき、お二人の先生方の優しさが感じられました。大変有意義な時間になりました。ありがとうございました。

小美玉市立美野里中学校

学 校 長：皆川 修

実施日時：令和4年1月20日(木)13:30~15:30

実施場所：教室、武道場

対 象：1年生219名

講 師：ピエルナツカ ヤマグチ イボナさん/ポーランド/各国事情紹介講師
 シン アルヴィンダーさん/インド
 サハ プラナブさん/バングラデシュ
 根本 久美子さん(メサフレンドシップ)
 船山 悦子さん・井川 健一さん(茨城アジア教育基金を支える会)
 掛札 真俊さん(日本バングラデシュ文化交流会)

【活動内容】

- ▶ 国際協力やNGOにおける活動について
- ▶ 各国の現状(医療・政府・歴史・文化など)やSDGsの取り組みについて講話、ワークショップ

生徒の感想

- ▶ SDGsの学習を行っていたので、どんな問題が世界で起きているかは知っていたつもりでしたが、先生方のお話を聞いた写真を見たりして、本当に現実に起こっていることなんだと驚きました。これからも自分にできることを行い、協力して支え合っていきたいです。
- ▶ 世界には、貧しい国がまだまだたくさんあり、生活に困っている人がいることが分かりました。自分にもできる活動を探し、みんなのために取り組みたいと思いました。
- ▶ 今日行ったゲームを通して、言葉が通じなくても、心でつながればたくさんの国の人々と交流ができ、互いに助け合うことができると学びました。
- ▶ バングラデシュの現状のお話を聞いて、まだきちんとした栄養や安全な水を確保できなかったり、学校に行けない子供たちがいたりして、そうした人々を助ける日本人や支援を広げていく方々を、身近に感じることができました。

先生の感想

- ▶ 生徒たちが国際協力や世界の様々な国の特徴について、関心をもって聞くことができた。生徒の質問に対してもしっかりと答えていただき、とても勉強になった。今回は1クラスにつき2つのテーマの講話を聞かせていただいた。それぞれが興味深い内容であったため、15~20分ごとにテーマを変えて講演していただくのも良いと思った。



桜川市立大和中学校

学 校 長：坂入 俊夫

実施日時：令和4年2月9日(水)13:50~15:40

実施場所：体育館(講師はオンラインで参加)

対 象：2年生47名

講 師：紙井 香織さん(JICA海外協力隊OV)
 派遣国：スリランカ/職種：コミュニティ開発

【活動内容】

- ▶ スリランカの紹介(国の位置、日本とのつながり、住居など)
- ▶ JICA海外協力隊としての活動の様子
- ▶ 質疑応答
 (苦労・やりがい・どうしたらJICA海外協力隊になれるか?等)

生徒の感想

- ▶ JICAの活動が具体的に分かって良かったです。
- ▶ 子どもたちへのアプローチの仕方が分かりました。特に、自作教材で興味・関心を高めているところが印象に残っています。
- ▶ スリランカでは、満月の日は休日になるなど、文化面での違いがあることが分かりました。
- ▶ JICAで活動するには現地に「慣れること」、「知ること」が大切だと分かりました。外国のことについて若い頃から知っておくことが重要だと再認識させられました。



先生の感想

- ▶ 質疑応答で、生徒からの「途中辛かったことはありませんでしたか?」という質問に対して、紙井さんが、「辛くて一度日本に帰ってしまったことがある。」と答えていました。それを聞いたときに、紙井さんがとても身近な存在に思えました。どれも同じような悩みを抱えながら生きていることに、生徒は共感できたようでした。また、スリランカの食べ物や、住居、物価など写真や表を基に説明していただいたので、日本との比較がしやすく工夫されていました。ありがとうございました。(担当教諭)
- ▶ スリランカの生活について、現地で生活をした人ならではの情報が話の中に散りばめられており、私自身たいへん勉強になりました。また、JICAの活動を具体的に説明してくださったので、外国で働くことがより身近に感じられた生徒がいたものと思います。また、機会がありましたらよろしくお願いいたします。(担任)



茨城県立竜ヶ崎第一高等学校

学 校 長：太田垣 淳一

実施日時：令和3年12月13日(月)13：30～15：30

実施場所：教室(現地高校生とオンラインで交流)

対 象：1年生240名

交流対象：ティアン・ディクティカ・イスラミック高校(インドネシア)

【活動内容】

▶ Zoomで英語を介したコミュニケーション活動を行った。

①メイン 開会の挨拶など。

②ブレイクアウトルーム

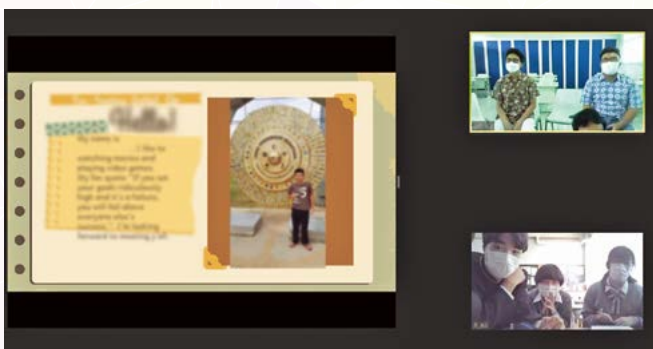
各学校の生徒が各5人のグループに分かれ、身近な話題についての質疑応答を行う。

日本側からの最初の共通の質問は“What do you think of Japan?”

2つ目以降は各グループで聞きたい質問をする。

生徒の感想

- ▶ 自分の言葉を理解してくれるかが最も不安だったが、頑張って話したら自分の話に共感してくれたり、笑ってくれたりして想像していた以上に楽しめたし、面白かった。今回の交流は自分の中で貴重な経験となった。
- ▶ 自分が話した内容に対して相手の方々が反応してくれて、自分の英語が伝わったことがとてもうれしかったです。また、日本とは違った文化や流行りなどを知れて楽しかったです。また外国の人と交流したいです。



先生の感想

- ▶ 生徒全員(240名)が参加するオンライン交流を希望していたところ、日本との交流を希望するインドネシアの高校を紹介していただき、今回のような交流が実現しました。交流実施前にZoom接続テストを行い、またインドネシアとの事前打ち合わせを複数回実施するなど、万全の準備をし、本番はとても良い交流となりました。生徒たちはインドネシアの生徒から温かい歓迎を受け、アンケートの結果から見てもとても貴重な良い経験を得たようです。



茨城県立大子清流高等学校

学 校 長：今瀬 一博

実施日時：令和3年10月21日(木)13：20～15：10

実施場所：会議室など

対 象：1年生39名

コーディネーター：佐藤 陽子さん

講 師：木村 プラタナさん/タイ/各国事情紹介講師

【活動内容】

▶ パワーポイントを使用し、タイの地理、文化、経済、食事、学校の様子などについて紹介

▶ タイ語による簡単なあいさつの練習

▶ 講師によるタイ舞踊の披露 → 民族衣装や制服、タイの教科書の紹介

▶ 質疑応答

生徒の感想

- ▶ 今回の話を聞いて一番驚いたことは、国王が変わることによってお札の肖像画も変わることです。日本ではありえないことなのでびっくりしました。また、タイの民族衣装はとてもキラキラしていて可愛いなと思いました。コロナが収まったらタイに行って、キラキラした衣装を着たいと思いました。
- ▶ そもそもタイの場所さえ知りませんでした。今回の話を聞いてタイのことがいろいろと分かり、勉強になりました。タイ語、料理の種類、学校のしくみ、観光スポットまでたくさんを教えてくださいました。バンコクってすごく近代的なんですね。機会があったらタイに行ってみたいです。
- ▶ 初めて聞く言葉や文化など、タイについて知ることができました。楽器や踊りなど、現地に行かなければなかなか見ることができないものを見ることができて、良い経験になり、タイという国に興味を持ちました。教科書や資料を見るよりもとても有意義な時間になりました。外国に目を向けるとたくさん新しいことが見つかることを今回の講義で知ることができました。



先生の感想

- ▶ タイの生活や食事、学校の話聞くことで、日本の普通が海外では普通ではないことを知れてよかったと思う。また海外の国のイメージとタイの違いにも気づけたことは良い学びになったと思います。
- ▶ 実際にタイの方からお話を頂くことで、観光で訪れるだけではわからない文化の違いなどを知ることができたのではないかと思います。タイ特有の調味料や楽器、民族衣装などを手に触れることで異文化を身近に感じることができ、生徒たちも良い表情を見せていました。



茨城県立下妻特別支援学校

学 校 長：前崎 明子

実施日時：令和3年11月25日(木)13：15～14：30

実施場所：教室(講師はオンラインで参加)

対 象：高等部1～3年生35名

講 師：全 家存さん/中国/留学生親善大使

【活動内容】

▶ オンライン交流

1. 中国の紹介(スライド、〇×クイズ)
2. ダンス「要跳舞」
3. コミュニケーション活動

参加者の感想

- ▶ 中国で有名な山や海、食べ物などを写真や言葉で分かりやすく教えてくれた。中国のことを知ることができてよかった。さらに中国のことを知りたいと思った。
- ▶ 中国のダンス「要跳舞」を教えてもらった。振り付けが可愛くて、踊っていてすごく楽しかった。
- ▶ 中国の学生の一日を映像で見て、とても面白かった。そして中国の人達も豆乳を飲むということに驚いた。
- ▶ 講師の先生が笑顔で話してくれていたの、緊張することなく楽しく活動ができた。



先生の感想

- ▶ オンラインでの開催だったが、画面を通して交流することで、講師の先生の顔や声、スライドの写真などを間近で見たり感じたりすることができた。
- ▶ 中国語を聞いたり話したり、スライドで食べ物や景色の写真を見たり、また中国に住んでいる人の生活が分かる動画、クイズやダンスなども取り入れてもらったりして、短い時間だったが多岐にわたる活動だった。
- ▶ 実態差のある生徒達だが、どの生徒にとっても、興味をもって楽しめる内容だった。特にスライドでは、食べ物や景色の写真などを大きく示してくれたので、障害が重い生徒にとっても分かりやすかったと思う。



つくばみらい市生涯学習課伊奈公民館

館 長：豊嶋 千恵子

実施日時：令和3年10月16日(土)10：00～12：00

実施場所：つくばみらい市立伊奈公民館 2階大ホール

対 象：つくばみらい市民17名

講 師：稲垣 スワンペンさん/ラオス/各国事情紹介講師

【活動内容】

- ▶ つくばみらい市伊奈公民館の令和3年度後期「公民館特別講座」として開催。

講座は、前半は講師のプレゼンによるラオスの説明、後半は参加者からの質問に答えてもらう形式で行った。

参加者の感想

- ▶ あまり詳しく知らなかったラオスの国のことが分かり以前より近く感じました。自然豊かな観光地が多く人間性も穏やかな感じもしました。親日国であると聞いてとても嬉しかったです。
- ▶ ラオスという国の存在は知っていたけど何も知らなかったの、で食事・教育・文化等たくさんの事を知ることが出来とても楽しかったです。スワンペンさんの日本語もとても上手で民族衣装も良かったです。
- ▶ 多民族国家の問題解決にまだ時間がかかる国かと思った。現地の方が先生で良く内容が解った。



担当者の感想

- ▶ 講師のスワンペンさんは、ラオスの歴史、経済、文化、食事、観光地など多岐に渡る分野について、30枚ものパワーポイント資料を作成し、事前に送付して頂きました。講座では、送付頂いた資料を受講生のみなさんに配付し、よりラオスについて理解を深めることができました。
- ▶ 講師は民族衣装を着て、また講師のテーブルには工芸品を置いて、ラオスについて説明して頂き、ラオスという国がより身近に感じられるように配慮して頂きました。
- ▶ 受講生との質疑応答では、教育、少数民族の課題、経済、観光地、言語など、多岐に渡る質問に丁寧に答えていただき、ラオスという国について理解を深めることができ、楽しい時間を過ごすことができました。



ワールドキャラバン 活用のバリエーション

ワールドキャラバンには、国際理解を深めるための色々な活用法があります。
イベントや交流会等、目的に合わせた場面でご活用ください！

各国の文化紹介（楽器体験等）



（日立市立櫛形小学校）

民族衣装試着体験



（茨城県立古河中等教育学校）

オンラインでの実施



（牛久市国際交流協会）

民族舞踊



（守谷市国際交流協会）

各国料理教室



（茨城県立明野高等学校）

JICA 海外協力隊体験談



（桜川市立岩瀬東中学校）

国際理解教育ワークショップ



（つくば市立沼崎小学校）

NGO 団体の支援活動紹介



（小美玉市立美野里中学校）

* 活用例の詳細につきましては、裏表紙(3)ワールドキャラバン活用例をご覧ください。

令和3年度ワールドキャラバン実施校／団体一覧表

No.	派遣先	開催日
1	那珂市国際交流協会(1/4)	令和3年 5 月15日
2	茨城県立水戸桜ノ牧高等学校(1/2)	令和3年 6 月 8 日
3	水戸内原国際交流ふれあいの会(1/3)	令和3年 6 月20日
4	牛久市国際交流協会(1/2)	令和3年 8 月 2 日
5	茨城県立水戸桜ノ牧高等学校(2/2)	令和3年10月 6 日
6	那珂市国際交流協会(2/4)	令和3年10月 9 日
7	つくば開成高等学校	令和3年10月12日
8	メサフレンドシップ(1/2)	令和3年10月12日
9	稲敷市立江戸崎小学校	令和3年10月14日
10	桜川市立岩瀬東中学校	令和3年10月15日
11	つくばみらい市生涯学習課伊奈公民館(1/3)	令和3年10月16日
12	大成女子高等学校	令和3年10月18日
13	茨城県立伊奈特別支援学校	令和3年10月20日
14	茨城県立大子清流高等学校	令和3年10月21日
15	城里町立石塚小学校	令和3年10月29日
16	牛久市国際交流協会(2/2)	令和3年10月29日
17	つくば市立葛城小学校	令和3年11月 9 日
18	つくば市立沼崎小学校	令和3年11月 9 日
19	かすみがうら市立志築小学校	令和3年11月10日
20	つくば国際大学高等学校	令和3年11月11日
21	北茨城市立関本小学校	令和3年11月11日
22	水戸内原国際交流ふれあいの会(2/3)	令和3年11月14日
23	牛久市立おくの義務教育学校	令和3年11月24日
24	茨城県立下妻特別支援学校	令和3年11月25日
25	茨城県立友部東特別支援学校	令和3年11月30日

No.	派遣先	開催日
26	つくばみらい市生涯学習課伊奈公民館(2/3)	令和3年12月 4 日
27	日立市立坂本中学校	令和3年12月 8 日
28	龍ヶ崎市立松葉小学校	令和3年12月 9 日
29	茨城大学教育学部附属特別支援学校	令和3年12月 9 日
30	ひたちなか市立佐野小学校	令和3年12月10日
31	東洋大学附属牛久高等学校	令和3年12月10日
32	つくば市立竹園西小学校	令和3年12月10日
33	那珂市国際交流協会(3/4)	令和3年12月11日
34	茨城県立竜ヶ崎第一高等学校	令和3年12月13日
35	取手市立白山小学校	令和3年12月14日
36	霞ヶ浦高等学校	令和3年12月15日
37	水戸内原国際交流ふれあいの会(3/3)	令和3年12月19日
38	メサフレンドシップ(2/2)	令和3年12月21日
39	小美玉市立美野里中学校	令和4年 1 月20日
40	那珂市国際交流協会(4/4)	令和4年 1 月21日
41	愛国学園大学附属龍ヶ崎高等学校	令和4年 1 月26日
42	茨城県立水戸聾学校	令和4年 1 月27日
43	茨城県立古河中等教育学校	令和4年 1 月28日
44	茨城県立つくば特別支援学校	令和4年 2 月 2 日
45	つくばみらい市生涯学習課伊奈公民館(3/3)	令和4年 2 月 5 日
46	桜川市立大和中学校	令和4年 2 月 9 日
47	一般財団法人つくば市国際交流協会	令和4年 2 月19日
48	古河市立古河第六小学校	令和4年 2 月22日
49	東海村日本語支援グループ	令和4年 2 月26日
50	茨城県立白浜少年自然の家	令和4年 3 月 5 日

令和4年度 ワールドキャラバン実施要領

詳細は公益財団法人茨城県国際交流協会のホームページ <https://www.ia-ibaraki.or.jp/> をご覧ください。

1 派遣内容

(1)派遣先：茨城県内の小・中学校及び義務教育学校、高等学校（中等教育学校を含む）、特別支援学校、生涯学習関連団体

(2)派遣する人材

A 外国人講師

①留学生（（公財）茨城県国際交流協会が任命した茨城県留学生親善大使等、茨城県内の大学や高校に在学する留学生）

②在住外国人（県内に在住する外国人（各国事情紹介講師）や県の国際交流員（CIR）、外国語指導助手（ALT））

B 日本人講師

①参加型学習を実施するファシリテーター（異文化理解、開発途上国への理解を深めるためのゲーム、ロールプレイなどを実施します）

②県内のNGO等国際交流協力活動実践者及び海外活動経験者

③JICA海外協力隊及びJICA派遣専門家等

C コーディネーター（日本人）

企画内容について、派遣先の相談に応じ、講師との連絡・調整、当日の進行役をします。

(3)ワールドキャラバン活用の例

①総合的な学習の時間で、世界の遊びや民族衣装、舞踊など披露してもらう。（小・中学校及び義務教育学校）

②道徳や特別活動、社会科等の授業で、JICA海外協力隊の現地活動の様子等を紹介してもらう。（小・中学校及び義務教育学校）

③道徳の授業等で、留学生とともに昨今の社会問題について出身国の状況も踏まえながら話しあう。（高校）

④地理歴史・公民等の授業に外国人を講師として招き、出身国・地域の社会情勢や風土について紹介してもらい、理解促進の一助とする。（高校）

⑤世界の料理を紹介してもらい食文化の交流を図る。（生涯学習関連団体）

⑥県内のNGO等国際交流協力活動者を講師として招き、団体の活動内容に関する講演を行ってもらい、国際協力や国際理解・国際貢献の重要性を知る。（生涯学習関連団体）

⑦ファシリテーターの進行により、シミュレーションゲームやロールプレイ、ワークショップを体験する。

2 申し込み手続き

○派遣を希望する学校は、派遣申請書を募集期間内に協議会事務局まで提出してください。

募集期間 令和4年4月1日～令和4年6月30日

事業実施期間 令和4年9月1日～令和5年2月28日

（※学校・団体で費用負担可能な場合、この限りではありません。ご相談ください。）



国際理解教育教材「ワールドボックス」貸出しのご案内

県内の国際理解教育推進のための役立つ教材（各国の国旗、民族衣装、工芸品、図書等）を各学校や生涯学習センター、その他国際理解教育を実施する個人・団体に貸出します。

教材の紹介、貸出方法や申請書のダウンロードは、公益財団法人茨城県国際交流協会のホームページをご覧ください。



お問い合わせ先

茨城県国際理解教育推進協議会事務局（公益財団法人茨城県国際交流協会内）

〒310-0851 茨城県水戸市千波町後川745 ザ・ヒロサワ・シティ会館分館2階

TEL：029-241-1611 FAX：029-241-7611 E-mail：iia@ia-ibaraki.or.jp

